

部門/会場	リーダー氏名	サブリーダー氏名		
10 階 1004・5 号室	ガバナー 立野 純三	危機管理委員長	岩津 陽介	大阪御堂筋本町
		次年度青少年活動副委員長	濱谷 和也	東大阪
		次年度ローターアクト委員長	坂田 淳一	枚方
		次年度インターアクト委員長	小池 貢	大阪帝塚山
		次年度青少年交換委員長	西邨 智雄	香里園
		次年度地区研修委員	辻本 一義	東大阪
議事録作成者	担当 SAA 高橋 一雅			

開会：(15 時 40 分)

発表者：濱谷 次年度青少年活動副委員長

【内容】

R I 及び当地区の青少年奉仕全般の歴史的変遷や各事業の実績を紹介し、新入会員やロータリー歴の浅い会員にも青少年奉仕の意義を理解して頂ける資料を制作配布しました。次年度は社会情勢の変化（ロータリアンや青少年適齢世代の人口減少）に適用するために各種継続事業の内容を見直します。具体的には R Y L A セミナーの研修内容や、「少年少女ニコニコキャンプ」を休止して新たな小学生児童を対象とした事業を検討します。同時に青少年奉仕部門に所属する委員や青少年（インターアクター、ローテックス、ローターアクター、チーム R Y L A）達が積極的に相互交流を進めることができことを検討します。

発表者：西邨 次年度青少年交換委員長

【内容】

添付の資料に基づき、青少年交換の歴史的流れを説明し、現在での R I での位置付けについて詳しく説明しました。我が地区での実状については、過去の参加者人数や交換先など実数をまじえながら説明し、ここ数年の経過内容を記録写真とともに紹介しました。プロジェクトへの参加の心構えや準備、申し込み方法などを説明し、今後の委員会事業の継続・拡大をお願いしました。

発表者：坂田 次年度ローターアクト委員長

【内容】

本年度はロータリアンへのローターアクトクラブ活動の周知という目的で発表いたしました。年 2 回開催される献血運動への御協力とロータリアンの積極的参加により、献血人数の増加、ロータリアンとローターアクターとの交流が図れます。また提唱・未提唱を問わず自クラブの事業において、2660 地区のローターアクターがサポートさせて頂く、RAC サポートシステムの活用方法についても説明いたしました。既に未提唱各クラブから問い合わせもあり、本年この RAC サポートシステムを使った事業が実施されます。最後に各委員会とも連携を取り情報交換や交流を深め、2660 地区事業の活性化を図ります。

発表者：小池 次年度インターアクト委員長

【内容】

次世代を担う青少年たちが行う地域社会の奉仕と国際理解を深める活動に対し、自立性あふれるいきいきとした活動環境をサポートし、指導力のさらなる養成を目指します。各事業の企画立案と実施に、各校生徒たちの自発的な参加を促し、青少年奉仕部門が持っているプログラムを通じてよい友達をつくる機会の拡大、RAC・ROTEX との交流を目指します。また、各校と提唱 RC との交流の強化・顧問教諭との情報交換、研究の強化・推進と新クラブ創立発展に努めます。

発表者：岩津 危機管理委員長

【内容】

先ず、地区に危機管理委員会があることを皆さんに知ってもらうため、危機管理委員会規定を配布し、「ロータリーにとっての危機」について具体例を挙げて説明。

引き続き、危機管理のフローチャートを配布し、危機が起こった場合の具体的なクラブ、会員、危機管理委員会の動きを説明。

最後に今後の危機管理委員会のあり方として、青少年奉仕関係を中心には活動をするが、ロータリー全般の危機として、震災やテロが起こった場合、地区内ロータリークラブが如何に連携を取っていけるかを考えるのも今後の危機管理委員会の役目である旨の説明。

閉会：(17 時 00 分)